

■施策評価シート 12-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	防災
基本方針	自助・共助による防災対策の充実	基本方針に関連するSDGsの目標	11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナリシップで持続可能を
施策番号	12-01-①	施策名	自主防災体制の確立と市民意識の高揚

施策の概要

自主防災組織の育成等を進め、防災訓練や地域協働での防災教育、また、住宅耐震化の支援等を進めます。また、災害時において支援を必要とされる要援護者の支援体制を事前に決定するなど、地域と一体となって防災対策を進めます。

成果指標(単位)	自主防災組織数(団体)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	204	205	206	207
実績値	203	204	204	205	

成果指標実績に対するコメント

令和5年度の実績値は、目標値を1団体下回ったものの、昨年度と比べ1団体増加した。地域の防災意識の高まりにより、自主防災組織設立の取組が進んだものと考えられる。

施策の達成度評価

自主防災組織への補助制度を拡充した結果、非常食、携帯トイレ等の消耗品の購入が進み、地域の備蓄の強化が図られた。民間事業者により、マンションの建設や宅地の開発が進められているので、町内会の設立と合わせ、自主防災組織の結成を積極的に促す必要がある。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

自主防災組織が設立されていない町内会や町内会が設立されていないマンションに対して、防災組織の設立を促進する必要があることから、令和7年度は、自主防災組織の設立支援に向けた取組を進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自主防災組織育成事業	危機管理課	○	自主防災組織への補助制度を拡充した結果、地域の備蓄の強化が図られたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
自主防災組織出初式開催事業	危機管理課
震災避難経路整備促進事業	建築政策課
民間建築物耐震化助成事務	建築政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 12-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	防災
基本方針	災害に強いまちづくり	基本方針に関連するSDGsの目標	11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナリシップで持続可能を
施策番号	12-02-①	施策名	消防体制・基盤の充実

施策の概要

消防・防災体制に係る人的資源の充実を図るとともに、消防団装備品の整備を進める等、迅速・確実な消防活動の確保に努めます。

成果指標(単位)	実消防団員数／定数(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	84.0	85.0	86.0	87.0
実績値	83.9	83.9	84.7	82.8	

成果指標実績に対するコメント

令和5年度の実績値は、目標値を3.2ポイント下回り目標を達成することができなかった。地域での各団員による勧誘、広報くさつ特集記事での消防団活動の紹介および団員募集等を行ったことで、新規団員が入団したものの、退団者が上回り、全体として団員数は減少した。

施策の達成度評価

新規団員の獲得に向けた取組は一定の成果が見られた。消防団は、災害に強いまちづくりに欠かせない存在であることから、団員を確保できるよう一層の広報活動に取り組む必要がある。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

引き続き、消防団の資機材、車両等の計画的な整備や、消防水利の適切な維持管理を行う他、新たに立ち上げられた広報部の取組を通じ、より一層の団員確保に努める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
湖南広域行政組合負担金事務(消防費)	危機管理課	○	消防・防災体制に係る人的・物的資源の適正な管理を行うことで、迅速な消防・防災活動につなげることができたため。
消防団活動事業	危機管理課	○	消防団の装備の計画的な整備を行うことで、迅速な消防・防災活動につなげることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
コミュニティ防災センター運営事業	危機管理課
消防車両等整備事業	危機管理課
消防水利維持管理事業	危機管理課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 12-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	防災
基本方針	災害に強いまちづくり	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	12-02-②	施策名	地域防災体制・基盤の強化

施策の概要

災害時に即応できる防災体制と情報伝達体制等を強化させるほか、計画的な備蓄確保や地域ごとの防災拠点の整備等に努めます。

成果指標(単位)	「災害に強いまちづくり」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	24.0	25.0	26.0	27.0
実績値	23.9	22.4	21.5	17.9	

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、実績値は目標値を8.1%下回った。令和6年能登半島地震の発生を受け、市民の防災意識や危機感が高まったことで、相対的に満足度が低下したものと考えられる。

施策の達成度評価

個別避難計画の策定、備蓄品の更新、地区防災計画策定の支援等を行ったことで、防災体制・基盤の強化が進んだ。災害に強いまちづくりの実現に向け、備蓄の強化や避難所の機能を高める取組を進める必要がある。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

マンホールトイレの整備、トイレトレーラーの配置等により衛生環境を向上させるほか、備蓄の強化を進めることで避難所の機能を高める他、受援および本部体制の見直しを行うことで、災害に強いまちづくりの取組を進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防災対策事業	危機管理課	○	防災資機材の整備や地区防災計画の策定支援などを行い、地域の防災体制・基盤を強化することができたため。
水防訓練事業	河川課	○	水防訓練等を実施し、水防活動の強化や県・消防等との連携強化を図ることができたため。
大雨警報警戒体制事業	河川課	○	気象情報をリアルタイムに取得し、迅速な水防体制を準備できたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
令和6年能登半島地震対策事業	危機管理課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 12-03-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	防災
基本方針	治水対策の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	12-03-①	施策名	河川・排水路の整備	

施策の概要
雨水排水能力の向上と浸水の防除を図るため、河川・排水路の適切な整備や維持管理を行うとともに、一級河川の早期整備に向けた要望活動に取り組めます。

成果指標(単位)	要望件数に対する実施率(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	94.5	96.0	98.0	100.0
実績値	93.0	85.7	95.1	96.6	

成果指標実績に対するコメント
複数年度かけて実施する要望案件があり、目標値に対して実績値が下回る結果となった。

施策の達成度評価
各町内会の要望に対し迅速に河川・排水路の整備や維持管理を行うことで、浸水危険箇所の解消が図れた。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方
近年、全国的に台風やゲリラ豪雨等による浸水被害が増えており、市民の治水対策に対する意識が高まっているため、一級河川の整備等の要望活動を継続するとともに、町内会の要望事項を中心とした、河川・排水路の適切な整備や維持管理に引き続き努める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
河川改修事業	河川課	○	計画通り排水路の改修を行うことができたため。
河川維持補修事業	河川課	○	各町内会の要望に対し、適時補修等を行い、適切な維持管理ができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草刈等河川愛護推進事業	河川課
町内会河川清掃浚渫土運搬事業	河川課
調整池維持管理事業	河川課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 12-03-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	防災
基本方針	治水対策の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	12-03-②	施策名	公共下水道雨水幹線の整備	

施策の概要
大雨による家屋等の浸水被害の軽減・未然防止を図るため、雨水排水路を整備します。

成果指標(単位)	雨水排水路整備完了面積(ha)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	624.42	626.42	628.42	630.42
実績値	622.15	630.88	633.94	634.90	

成果指標実績に対するコメント
計画に基づき雨水排水路の整備を実施し、整備目標を達成することができた。

施策の達成度評価
令和5年度は北川第6排水区・新浜第2排水区等の雨水排水路の整備を行い、浸水被害の軽減・未然防止が図れた。

評価に基づいた令和7年度取組についての考え方
近年、全国的に台風やゲリラ豪雨等による浸水被害が増えており、市民の治水対策に対する意識が高まっているため、今後も浸水被害の軽減・未然防止を図るため雨水排水路の整備を進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
雨水管渠等維持管理事業	河川課	○	適時補修等を行い、適切な維持管理を行うことができたため。
雨水管渠整備事業	河川課	○	計画通りの雨水排水路の整備を行うことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。